

2020年度 第4回町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会 議事録

〔日時〕 2021年2月10日（水）18:00～19:10

〔場所〕 リモート開催（市庁舎3階 3-1会議室）

〔出席委員〕 ※敬称略

今井、長田（久）、西口、五十子、長崎、長田（哲）、西嶋、齋藤、馬場、安達、長谷川、佐々木、松山

－13名

〔事務局〕

岡林部長、佐藤課長、古味課長、菊地原課長、川島課長、江成課長、田中課長、大島係長、犬塚係長、岡係長、佐藤（里）係長、佐藤（順）係長、近藤係長、皆川係長、西山係長、松村係長、栗山係長、小澤係長、高木、川島、小山

－21名

〔会議の公開・非公開の別〕 公開

〔次第〕

1 開会挨拶

2 報告

（1）パブリックコメントの実施結果について（資料1）

（2）町田市高齢者福祉計画の2020年度進捗状況評価（資料2）

（3）第7期町田市介護保険事業計画の2020年度進捗状況評価（資料3）

3 議題

（1）「（仮称）町田市いきいき長寿プラン2 1-2 3」答申について（資料4・5）

4 事務局より

5 閉会

配付資料

資料1 「（仮称）町田市いきいき長寿プラン2 1-2 3」の策定に向けたパブリックコメントの実施結果について

資料2 町田市高齢者福祉計画2020年度進捗状況評価結果

資料3 第7期町田市介護保険事業計画2020年度進捗状況評価結果

資料4 （仮称）町田市いきいき長寿プラン2 1-2 3（町田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画-第8期-）2021年度～2023年度（答申案）

資料5 「（仮称）町田市いきいき長寿プラン2 1-2 3」中間報告以降にいただいた委員からのご意見等

〔内容〕

1 開会挨拶

事務局 定刻になりましたので、ただいまから、2020年度第4回町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会を開会いたします。私は、事務局を担当しております、いきいき生活部いきいき総務課の佐藤と申します。しばらくの間、進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、いきいき生活部長の岡林から、開会のご挨拶を申し上げます。

事務局 いきいき生活部長岡林でございます。本日はご多用の中、第4回町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。審議会委員の皆さまには、日頃から市の高齢者施策や介護保険行政にもご協力をいただき、厚くお礼申し上げます

本日は、これまで議論を重ねていただきました「(仮称)町田市いきいき長寿プラン21-23」につきまして、審議会としての答申をまとめていただき、今年度最終回の審議会となります。委員の皆さまには、限られた時間の中、また緊急事態宣言下ということで、ウェブ会議という前例のない形式ではございますが、忌憚のないご意見をたまわり、闊達なご議論を重ねていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※本日の流れ及び資料確認、確認事項～進行を今井会長へ

2 報告

今井会長 皆さん、こんばんは。改めまして、町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会の会長を務めさせていただいております、和光病院の今井幸充と申します。今日はこのようなかたちでの会議になり、私も慣れていませんが、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、早速始めさせていただきます。お手元の次第に従いまして、報告(1)について、事務局から説明をお願いいたします。

(1) パブリックコメントの実施結果について(資料1)

※事務局より資料1について、以下のような説明があった。

- ・パブリックコメントは、2020年12月16日(水)から2021年1月15日(金)に実施され、14名から延べ45件の意見をいただいた。
- ・住まいと介護サービス基盤の整備についての意見が9件と最も多く、特別養護老人ホーム等の施設整備に関する声が多く寄せられた。

- ・2番目に多かったのは、介護人材の確保・育成・定着についての意見で、介護職員の給与の改善に関する声が多く寄せられた。
- ・介護保険料についての意見は5件で、介護保険料の値上げに反対する声为主であった。
- ・個別の意見の概要と市の考え方は、資料1参照。またホームページ等で2021年3月中旬に公表予定。
- ・パブリックコメントの意見を受け、「わかりにくい」と指摘された部分については用語解説を追加するなど、計画に反映している。

今井会長 ありがとうございます。あらかじめ、委員の方々には資料をお送りして、目をとおしていただいていると思いますが、事務局の説明を受けて、何かご質問、ご意見がありましたら、挙手を願います。

馬場委員 9ページの44番、新型コロナウイルス感染症の関連ですが、昨日社会福祉協議会で2020年度の取り組みの検証があり、今年度は対面で行う事業がほとんど実施できなかつたり、あるいは縮小して実施されていました。計画の中には、対面で行うことを前提としている事業が多々あると思いますが、それらについて多少幅をもたせた施策にしているのでしょうか。また何か先行事例がありましたら、事業者や社会福祉協議会に教えていただきたいと思ひます。

事務局 ご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり、2020年度はコロナの影響で、市としても、お願いしている事業も、対面ではできなくなりました。介護予防として体を動かす事業などは、ホームページ上で動画を公開して、自宅でもできる取り組みを進めていただいています。コロナ対策についての情報発信も含め、自宅でもできる取り組みを進める工夫はしております。他市の取り組みを全ては把握していませんが、コロナ禍で対面の事業ができない中、ICTなど機器を通じた発信、わかりやすく手に取って見ていただけるようにチラシが配られているなどの事例を認識しております。今回のご意見について、「幅をもたせた柔軟な施策」という、その幅をどこまで、どのようにつか、コロナがすぐに終息するとは限らないことを念頭に置いて、どのように取り組みの情報を届けるかなどを検討していきたいと思ひます。

今井会長 よろしいでしょうか。他にご質問はございませんか。それでは、次の報告事項に進ませていただきます。今回は報告(2)と(3)を続けて、事務局より説明をお願いいたします。

(2) 町田市高齢者福祉計画の2020年度進捗状況評価(資料2)

※事務局より資料2について、以下のような説明があった。

- ・各年度の進捗状況評価は、当該年度が終了し、各指標の実績が確定した後、翌年度の審議会にて報告しているが、今年度は第8期計画策定のため、今年度中に進捗状況評価を実施している。そのため、実績が確定していない指標については、見込み値にて評価している。
- ・2020年度の進捗状況評価は、「計画以上に進んでいる」が全体の10.2%（取組数6）、「計画どおり進んでいる」が74.6%（取組数44）となっており、計84.8%、50の取り組みが計画以上または計画どおりに進捗している。
- ・各指標の実績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、低下の傾向がみられるものもあるが、全体としては概ね計画どおりに進んでいる。
- ・基本目標1「地域参加と生きがいの推進」については、「高齢者スポーツ普及事業」や「高齢者の健康づくり」等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ゲートボール大会や健康教育を中止したため実績が低下しているが、「地域介護予防自主グループ支援」や「町田を元気にするトレーニング（町トレ）」、「地域活動団体型サービス」等は、目標値を上回っている。
- ・基本目標2「住み慣れた地域での生活継続の推進」については、「あんしんキーホルダー事業」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で周知の機会が減少したことにより、実績が低下しているが、その他9割以上の取り組みが計画以上または計画どおりに進捗している。
- ・基本目標3「自分に合った施設や住まいの選択」については、「地域密着型サービス整備（（看護）小規模多機能型居宅介護）」や「広域型介護保険施設整備（介護老人保健施設）」等は、整備目標に達しなかったが、それ以外は計画どおりに進捗している。
- ・基本目標4「安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり」については、「認知症電話相談」は計画値を下回っているが、それ以外の取り組みは計画どおりに進捗している。

(3) 第7期町田市介護保険事業計画の2020年度進捗状況評価(資料3)

※事務局より資料3について、以下のような説明があった。

- ・2020年度の進捗状況評価は、「計画以上に進んでいる」が全体の10.5%（取組数4）、「計画どおり進んでいる」が71.1%（取組数27）となっており、計81.6%、31の取り組みが計画以上または計画どおりに進捗している。

おり、計 81.6%、31 の取り組みが計画以上または計画どおりに進捗している。

- ・各指標の実績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、低下の傾向がみられるものもあるが、全体としては概ね計画どおりに進んでいる。
- ・基本目標 1「地域の支え合いでいきいきと暮らしている」については、取り組みの内容が高齢者福祉計画とほぼ重複しており、「地域活動団体型サービス」「地域介護予防自主グループ支援」「町田を元気にするトレーニング（「町トレ」）」は目標値を上回っている。
- ・基本目標 2「支援が必要になっても住み慣れた地域で生活できている」については、取り組みの内容が高齢者福祉計画とほぼ重複しており、「認知症相談支援」「高齢者あんしんキーホルダー事業」等は計画値を下回っているが、その他の取り組みは概ね計画どおり進捗している。
- ・基本目標 3「よりよい介護保険サービスを適切に利用できている」については、「介護保険施設等の整備」で介護老人保健施設を整備できなかったほか、「要介護度改善に伴うインセンティブ事業」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、実績が低下した。その他の取り組みは計画どおり進捗している。

今井会長 ありがとうございます。概ね進捗状況はよいようですが、何かご質問やご意見のある方はいらっしゃいますか。

長谷川委員 資料 2 の 21 ページ「施策① 介護人材の育成・確保の支援」ですが、これは主にどのような人を対象にしているのですか。

事務局 いきいき総務課佐藤でございます。介護人材の育成は、基本的には事業所で働いていらっしゃる方が主な対象者です。

長谷川委員 介護人材については、人材不足や給与体系が低いなど、色々な問題があります。今後、改善する見込みがあまりないように感じるので、もう少し高齢者、50 歳以上の方でリタイアされて、介護の仕事に就きたいと思っている人を対象にした人材の育成を考える必要があるのではないのでしょうか。そうすれば介護人材の不足も解消すると思いますが、いかがですか。

事務局 ご意見ありがとうございます。町田市では、アクティブシニアとして 50 歳以上の方を対象とした人材確保のための施策の研修などをさせていただいております。70 歳、80 歳でも実際に事業所で働いておられる方がいます。そのような方をターゲットとして、人材を確保していくことも必要だと思っております。それ以外にも、今回の計画に載せた ICT、スマホのアプリを使って、事業所とマッチングをするということも考えております。高齢者の方にもかなりスマホ

を使われる方はおられるので、そういった方々にアプリをとおして、働き口をつないでいけるような取り組みを進めていければと考えております。

今井会長 他に、ご質問やご意見はございますか。それでは、ここで報告事項に関する質疑は終了とさせていただきます、今日の本題である議題に入らせていただきたいと思っております。議題（１）について、事務局から説明をお願いいたします。

3 議題

(1) 「(仮称) 町田市いきいき長寿プラン 2 1-2 3」 答申について (資料 4・5)

※事務局より資料 4・5 について、以下のような説明があった。

- ・答申案「第 2 章 現状と課題」の「1 高齢化の状況」「2 日常生活圏域別分析」に掲載されているグラフのデータは、2020 年 10 月の実績が確定したので推計値から実績値に更新し、2019 年 10 月から 2020 年 10 月に時点更新をしている。
- ・答申案「第 2 章 現状と課題」の「3 計画の進捗状況」は 2020 年度の進捗評価に更新している。
- ・答申案「第 3 章 計画の基本目標と基本施策」の 50 ページから 88 ページの「(4) 主な取組」の指標において、これまでは現状値に 2019 年度の実績値を掲載していたが、2020 年度の実績値または見込値に時点更新している。
- ・答申案では、取り組みとしては詳細を紹介しにくい内容についてのコラムを 9 つ掲載している。
- ・コラム「感染症予防×フレイル予防で健康な生活を」は、感染症予防のため、高齢者の交流や運動の機会が減少することで懸念されるフレイルに対し、感染症対策を踏まえたフレイル予防の推進に取り組んでいる旨を紹介している。
- ・コラム「コロナ禍でも介護サービスを続けるために」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている介護保険事業所への備品支援や PCR 検査等の費用補助など、事業継続のための支援について紹介している。
- ・コラム「高齢者の生活を支える外出支援を」は、地域主体で進んでいる買物支援プロジェクトや高齢者の安全運転に向けた取り組みを紹介している。
- ・コラム「まちだ D サミット～「認知症とともに生きるまち」を目指して～」は、認知症施策における町田市の特徴的な取り組みとして、「まちだ D サミット」の開催を紹介している。

- ・コラム「住み慣れたわが家で自分らしく生きたい～町プロの取組～」は、町田市医師会、町田市歯科医師会、町田市薬剤師会、町田市ケアマネジャー連絡会、町田市高齢者支援センター連絡会が参画している「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト（通称：町プロ）」の取り組み内容を紹介している。
- ・コラム「最期まで自分らしくあるために～権利擁護と終活支援～」は、町田市社会福祉協議会を中心に進められている成年後見制度の利用支援に関する取り組みや、地域主体で進められている終活支援の取り組みについて紹介している。
- ・コラム「いっしょに介護のお仕事してみませんか？」は、外国人のための介護の日本語教室や、小学生を対象とした介護の職業体験など、長期的な視点で進めている介護人材の確保の取り組みを紹介している。
- ・コラム「あなたにぴったりの住まいを選択するために」は、様々な高齢者の住まい・施設について、身体の状況と費用負担の視点から、その特徴を整理し、紹介している。
- ・コラム「地域と共に実現する高齢者の多様な住まい方」は、高齢者の住まいに関する先進的な事例として、桜美林ガーデンヒルズにおける多世代交流の取り組み事例を紹介している。
- ・答申案第4章は、サービス別給付見込み量等を追記した。詳細については資料4参照。
- ・第8期の総事業費は、約1,105.1億円と見込まれている。
- ・中間報告以降に寄せられた委員からの意見等と市からの回答については、資料5参照。

今井会長 ありがとうございました。今日の主な議題となります。何かご質問、ご意見はありますでしょうか。

佐々木委員 コラムが非常にわかりやすく、読みやすく、理解しやすいものとなっていたこと、お礼を申し上げたいと思います。

2点あります。1点目は、資料4の31ページに「■新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、地域連携機能の強化がより重要に」とありますが、ここでぜひ触れていただきたいと思うことがあります。高齢者はコロナにかかると重症化などのリスクが高いため、緊急の際に病床が確保されているのか、心配しています。新聞やインターネットなどでかなり逼迫している状態であることが流れていますが、緊急時に病院間でどのような連携対策がなされているのでしょうか。それについて、安心できる表現が入ればよいと思います。

- 2 点目は、公共料金は減免制度がありますが、介護保険料は年金から天引きされます。高齢者が増えることで自動計算的に負担が増えていかないようお願いしたいと思います。介護給付費準備基金を活用して、せめて前期と同じ、もしくは下がるような配慮はできないでしょうか。これは、お願いでございます。
- 今井会長 ありがとうございます。高齢者の入院対策の問題と介護保険料の問題ですが、お答えいただけますでしょうか。
- 事務局 ご意見ありがとうございます。いきいき総務課の佐藤でございます。高齢者の方の病床の確保について、話をさせていただきます。町田市は保健所政令市です。新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、またその方が重度の場合、病院との調整が非常に大切であり、保健所を主軸に調整を行っている状況です。私どもの課の隣が保健所ですが、常に保健所で病院等の調整連絡をしていることは目の当たりしております。この計画の中に書くことは難しいですが、「実際に連携が図られているか」ということについては、病院や介護施設、また必要に応じて様々なところとの連携が図られていると思います。
- 佐々木委員 ありがとうございます。安心いたしました。
- 事務局 介護保険課長古味でございます。介護保険料についてのご意見をありがとうございます。確かにパブリックコメントでも介護保険料については、値上げをしないでほしいというご意見をいただいております。やはりサービスを利用される方が増えてまいりますと、総事業費が増えていきます。介護保険は3年間の中期計画を見越して介護保険料を決定するので、サービスを利用される方が増えるなどの不測の事態を想定し、足りなくならないように設定いたします。一方で、介護給付費準備基金を活用して、現在の算定上の数字である6,096円からどれだけ下げているかを答申後に決めるかたちになります。介護保険サービスに係る給付費の負担は、公費が半分で介護保険料が半分というしくみとなっているので、サービスを利用する方が増えていく中では、どうしても介護保険料も増えていってしまうこととなります。サービスを適正に使っていただくための方策やケアプランを適正に作成するなどの取り組みを同時に行っていく、給付費が増えていかないように努力していきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。
- 佐々木委員 ありがとうございます。色々な面で民情を安定させていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。
- 馬場委員 資料4の60ページ上段の「【指標】地域ケア個別会議事例提出者の満足度」で、「現状(2020年度)」が100%で、その次年度以降は90%というのは、「90%であれば、満足しているんだろう」という意味に捉えればよいのでしょうか。現状の100%を90%へ変えるのは、下がってもよいという印象を受けます。どのようなお考えでしょうか。

事務局 高齢者福祉課長の川島でございます。ご意見ありがとうございます。今年度地域ケア個別会議事例提出者から私たちに出していただいたご意見では、満足度が100%でございました。来年度以降についても、この事業を受けていただく方たち全員に満足していただけるように考えております。100%を目指しての「90%以上」と捉えております。

西口委員 この答申案の各エリアにおける高齢化率を見ると、明らかに大きな差があります。高齢化率だけで判断することはできませんが、1つの指標として見ると、資料4の町田市全体が27.0%であるのに対し、20ページの三輪緑山は39.5%、一方18ページの小山ヶ丘は13.3%となっています。2倍以上の差があります。従って、各地域の特色に合わせた施策やサービスの構築が必要だと思われます。これについてはどのようにお考えでしょうか。

また孤独や孤立の問題が大変深刻になっております。地域共生社会の構築がクローズアップされていますが、その中に重層的な支援があろうかと思えます。それは平たくいうと、「今までの縦割りをフラットにし、必要に応じて、横串を刺して使っていきましょう」ということだと思えます。重層的な支援について、町田市ではどのようにお考えでしょうか。

事務局 ご質問ありがとうございます。地域支援担当課長の江成と申します。まず1点目の地域差につきましては、ご指摘いただいたとおり、地域ごと、町ごとに高齢化率に大きな差が出ております。市内一律のサービス提供というより、各高齢者支援センターが地域ごとの特色をつかみながら、その特性に応じて活動できるようにと考えております。発生している地域課題について、地域ケア会議等で各専門職の方々や地域の方々のご意見をいただきながら展開していきたいと思えます。

事務局 続けて、いきいき総務課高木から、2点目にいただきました重層的支援体制の構築に関して、ご説明いたします。今年4月の改正社会福祉法の中で、重層的支援体制の整備が盛り込まれておりました。これまで、高齢者福祉分野では高齢者支援センターを中心に相談体制が構築されていたところを、例えばその他の子ども・子育て分野や障がい福祉分野、保健分野などの福祉分野と連携して、断らない相談体制を構築していくことがこの改正の主旨であると考えております。また、これに先立ち平成29年の改正社会福祉法において、市町村地域福祉計画が各分野の福祉計画の最上位計画として位置付けられました。町田市では来年度に地域福祉計画の改定を予定しております。この中では、全体的な福祉分野の連携に関しても検討を進めているところです。福祉分野全体で連携を図りながら、重層的支援体制の構築について検討を進めていきたいと考えております。

西口委員 ありがとうございます。よくわかりました。私は、例えば小山ヶ丘の高齢化率が低いのは、若年層、子どもを育てている層の人たちが相当いるのだろうと思います。やはり小山ヶ丘は、中学校をどうつくっていくかが課題であり、今は堺中学に編入していますが、遠さを考えれば改善しなければならないと思います。その若年層、子育て世代の支援を、地域包括支援センターが担っていけるような体制づくりをしないと、もたないだろうと思いますので、その辺の連携を図るために、まず町田市役所内の縦割りを解消して、横串ができるような体制をつくっていただきたいと思います。少し失礼なことを申し上げましたが、これは私の願いです。よろしく申し上げます。

今井会長 ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございます。他に、ご意見はございますか。報告事項を含め、全体をとおしてのご質問でも結構です。それでは、私から1つ質問させていただきます。97ページの「(3) 介護保険制度の主な改正」に、介護認定の有効期間の上限を36か月から48か月に延長するとあります。これには、何か根拠となるものがあるのですか。

事務局 これに関しましては、全ての人を48か月にするというのではなく、上限を延長することになっておりますので、更新の申請をしている方が前回の要介護度と変わらないことがまず1つの条件になります。一方で、最終的には認定審査会の医師をはじめ、保健・医療・福祉の学識経験者が最終判定をいたしますので、「48か月、状態が変わらないだろう」と判断された方に適用していくことになると思います。

今回の改正以前に、24か月から36か月に上限が延長されました時に、認定審査会の委員の先生方には大分慎重論がございまして、なかなか適用されませんでした。その中で、制度的には認められておりますので、過去の、条件に当てはまる方の状態をさかのぼって調べました。今手元に資料はないのですが、調べた中で、状態が大きく変わる方が多くはなかったことが1つあります。仮に状態が変わられた場合には、改めて区分変更の申請ができます。要介護の認定を受けている方であれば、ケアマネジャーや高齢者支援センターの職員が状態を把握しておりますので、変わった時点で申請をしていただき、改めて介護度を出すこととなります。その点は、慎重に対応していきたいと考えております。

今井会長 ありがとうございます。よくわかりました。他に、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、今年度最後の審議会として、計画の答申をまとめることとなります。本日、委員の皆さまからいただいたご意見を反映することを前提として、またその反映に関しては私と長田職務代理が確認させていただくこととなりますが、審議会として、本日晒された答申案を承認してよろしいでしょうか。この件について、異議のある方がいらっしゃったら、挙手をお願いいたします。

— 一同異議なし —

今井会長 それでは、審議会としてこちらを承認したことを認めさせていただきます。

一年間、私が審議会の会長として非常につたない進捗をさせていただき、6回の審議会を開催いたしました。皆さまのおかげで答申案をまとめることができました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、皆さん、ここにお集まりになるのに大変なご苦勞もあったと思います。リモートで行われた今日のように、以前の審議会とは違うかたちで行われた6回の審議会だと思います。いずれにしても最後に満場一致でまとまったことを、私は大変嬉しく思います。皆さま方、本当にありがとうございました。来年度もまたよろしく願いいたします。事務局の方々、ご苦勞様でした。それでは、事務局にお戻しします。

事務局 ありがとうございます。2020年度の町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会は今回が最後となります。最後に、いきいき生活部長の岡林より、ご挨拶を申し上げます。

事務局 いきいき生活部長岡林でございます。本日はご多用の中、第4回町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。今年度を振り返りますと、年度当初から緊急事態宣言の発出により、予定どおり審議を進めることができず、部会形式や本日のようなウェブ会議で議論を深めるなど、委員の皆さまには、限られた時間の中での議論にご協力をいただいております。

現在も緊急事態宣言が発出されており、特に医療や介護の現場では厳しい状況が続いていると存じております。このような中、「(仮称)町田市いきいき長寿プラン21-23」の策定にご協力をいただきまして、心よりお礼を申し上げます。計画は策定して完了ではなく、今後どのようにこの計画を推進していくかが重要となります。引き続き、市民の皆さま、関係機関・団体の皆さまにご協力、ご理解をいただきながら、この計画を推進してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

4 事務局より

※事務局より事務連絡があった。

5 閉会

事務局 以上をもちまして、第4回町田市介護保険事業計画・高齢者福祉計画審議회를終了いたします。リモートにて参加している委員の皆さまも退席をお願いいたします。ありがとうございました。